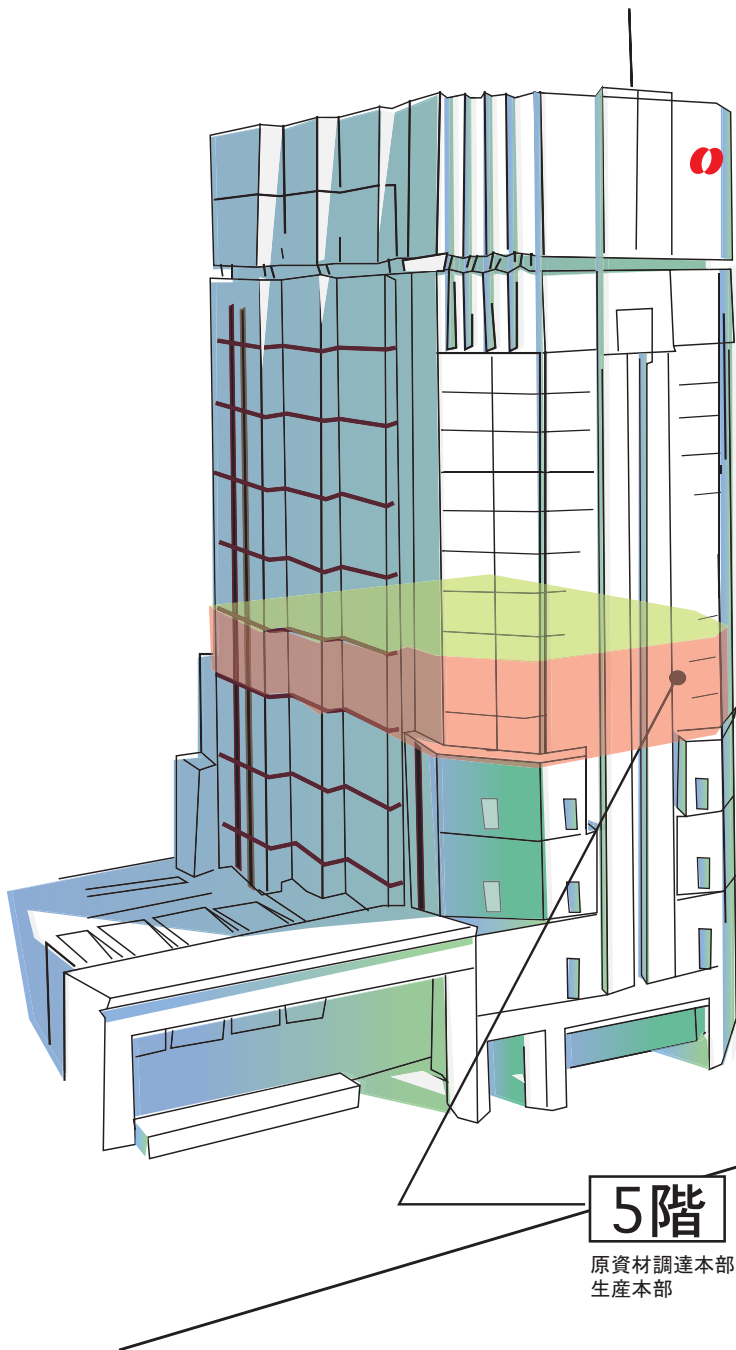




2003年度取組実績
2004年度目的・目標

本社ビル 環境目的・目標

2004年度



省エネルギー **目的** 電気使用量を削減する

目標 電気使用量を2003年度比1%削減

具体的施策

節電の励行(消灯、エレベーターの使用制限、空調の使用制限)

省資源 **目的** 紙使用量を削減する

目標 紙の使用量を2003年度実績の1%削減

具体的施策

リサイクル向古紙の回収を増やすための分別の徹底
リユース紙の在庫切れを無くす為にリユース紙裁断分担表を作成し管理する

製品 **目的** 1. 安心・安全な製品の提供
2. 製品クレームの撲滅

目標 1. トレー5種類を薄くする
2. ダンボール1,400アイテムの材質を変更する
3. 製品クレーム発生件数を前年比90%以下にする

具体的施策

1. トレー、段ボールの厚み、材質の見直し
2. クレームの分析と対策の実施

大気汚染 **目的** 食材クズ廃棄量の削減

目標 食材クズ廃棄量を2003年度実績の20%削減

具体的施策

見本品等を賞味期限内に使用・消費する

教育・啓蒙 **目的** 内・外部すべての利害関係者の環境意識の向上

目標 外注先、運送委託先、納入業者に対する教育、環境意識の向上

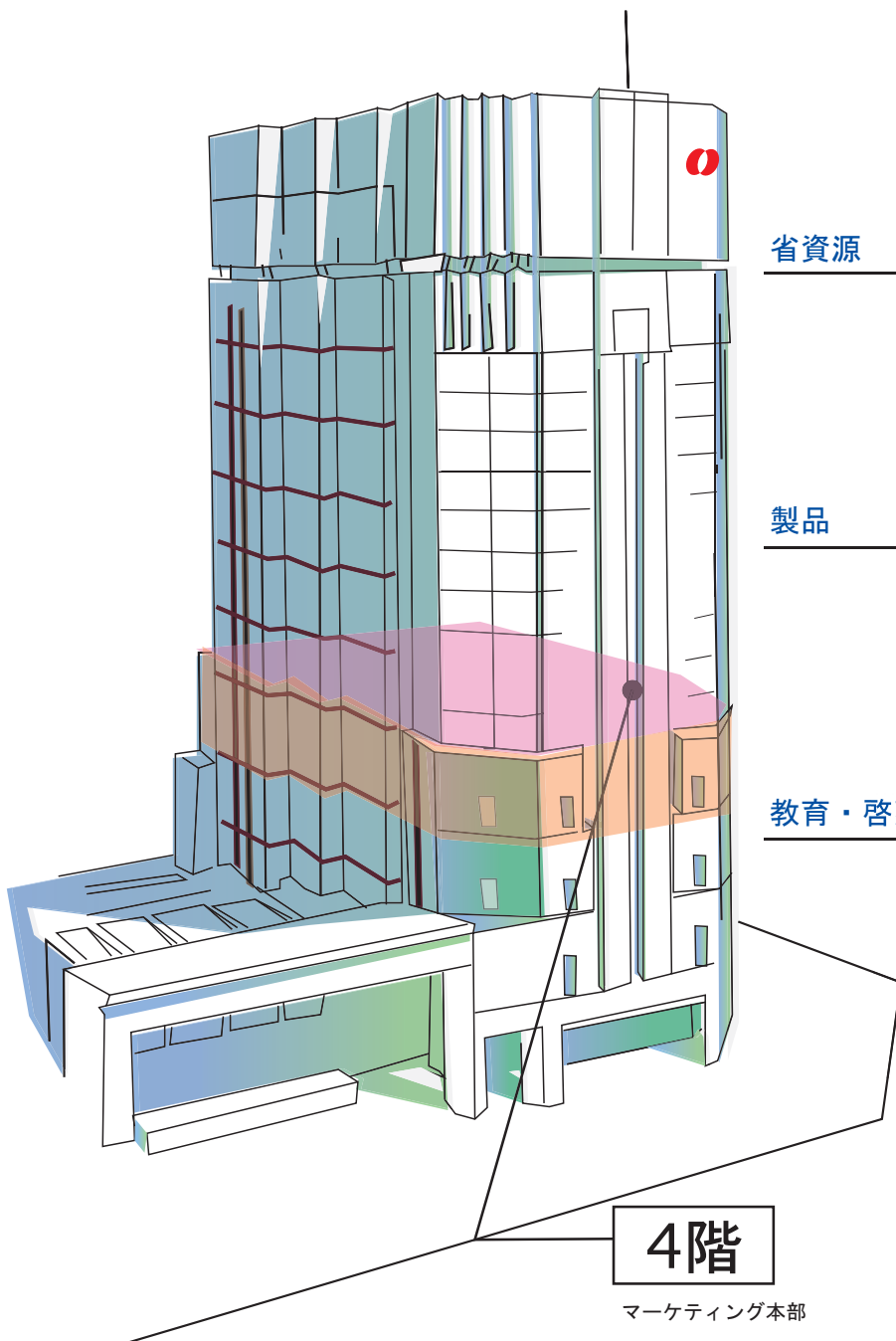
具体的施策

資材メーカーに対してQCチェックを行うと同時に環境意識の向上



2003年度取組実績
2004年度目的・目標

本社ビル 環境目的・目標 2004年度



- 省エネルギー** **目的** 電気使用量を削減する

目標 電気使用量を2003年度実績の1%削減

具体的施策
節電の励行(消灯、各種OA機器の節電モードの活用、エレベーターの使用制限等)
- 省資源** **目的** 余剰資材のリユース

目標 余剰資材在庫を2003年度末の1%減とする

具体的施策
余剰資材のリユース(余剰資材を利用した新製品企画・開発等)
- 製品** **目的** 長期在庫の削減

目標 長期原料在庫を2003年度末の1%減とする

具体的施策
長期原料在庫を使用した新製品企画・開発
- 教育・啓蒙** **目的** 外部業者の環境意識の向上

目標 取引のある資材業者の環境意識の把握と向上

具体的施策
取引のある資材業者への環境意識の啓蒙



2003年度取組実績
2004年度目的・目標

本社ビル 環境目的・目標

2004年度

省エネルギー **目的** 電気使用量を削減する

目標 電気使用量を前年度比1%削減

具体的施策

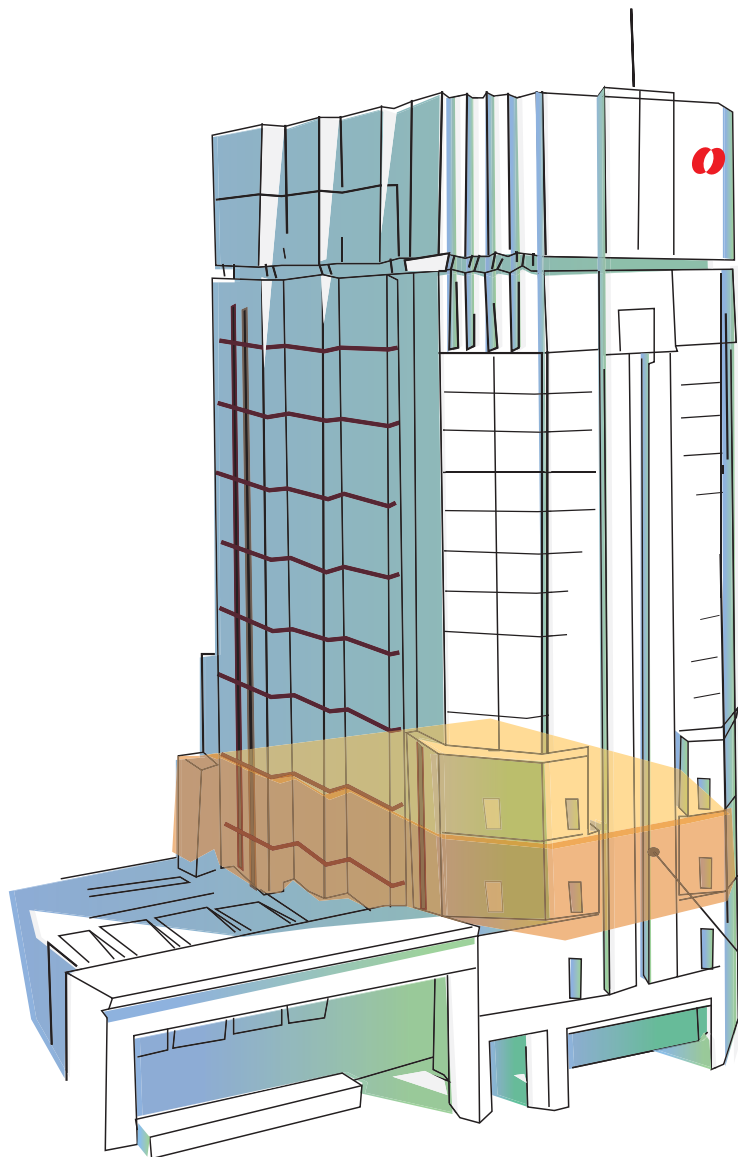
節電の励行(消灯・エアコンの使用管理)

教育・啓蒙 **目的** 内・外部の利害関係者の
環境意識の啓蒙

目標 内・外部の利害関係者の環境意識の
向上

具体的施策

3階使用者に対する環境意識の啓蒙活動



3階

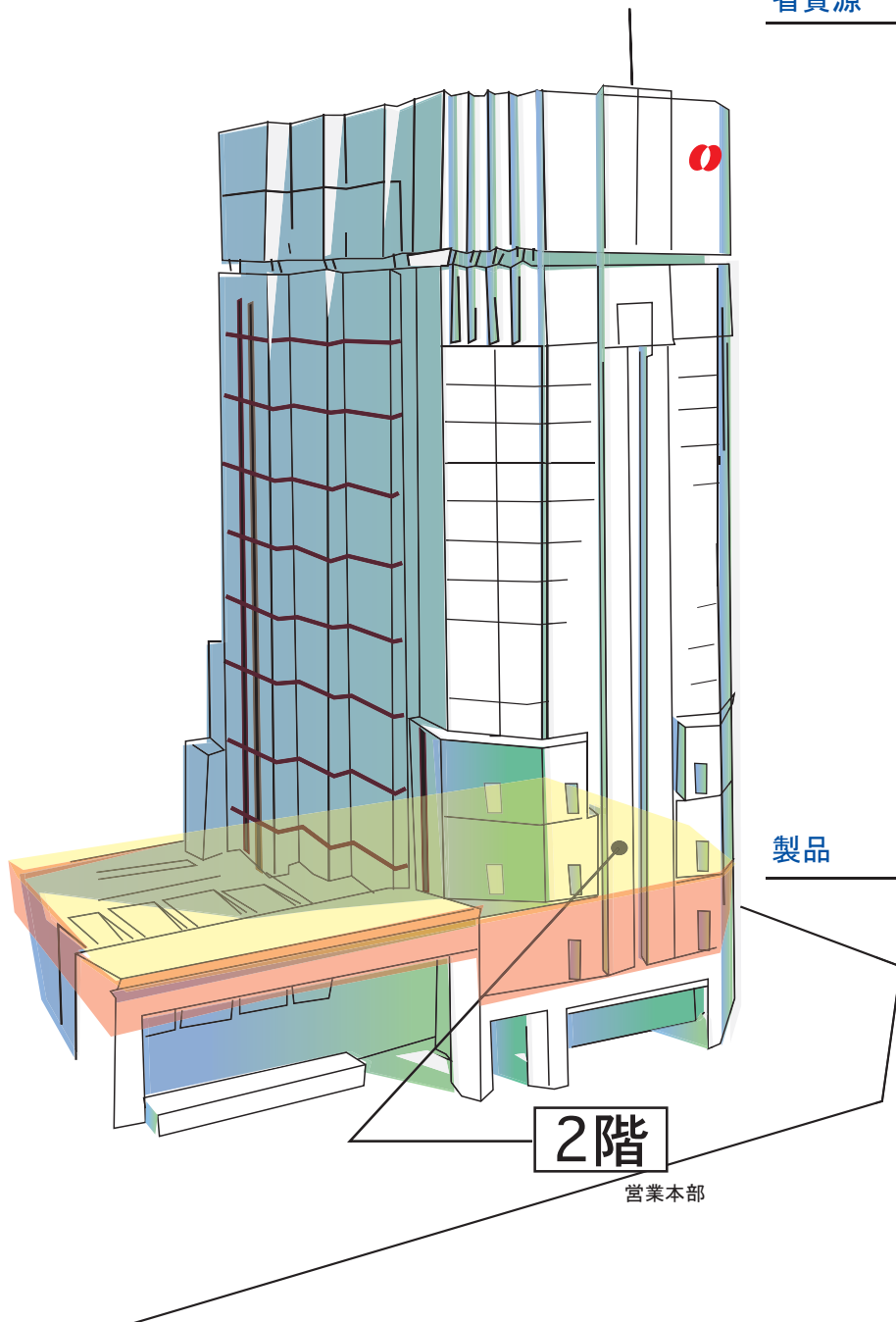
会議室



2003年度取組実績
2004年度目的・目標

本社ビル 環境目的・目標

2004年度



省資源

目的 製品の返品を削減する

目標 製品返品金額を2003年度比3%削減

具体的施策

得意先に対して返品なしの条件交渉や見切り処分の実施による返品の削減

目的 販売見本使用量を削減する

目標 販売見本使用量を2003年度比5%削減

具体的施策

販売見本の一元管理による再利用を行い、販売見本の削減を行う

目的 各配送センターにおける環境負荷の低減

目標 PPバンド消費量を2003年度比3%削減

具体的施策

梱包方法を見直し、改善指導を行い、使用量の削減を図る

製品

目的 製品クレームを削減する

目標 製品クレーム発生件数を前年比90%以下にする

具体的施策

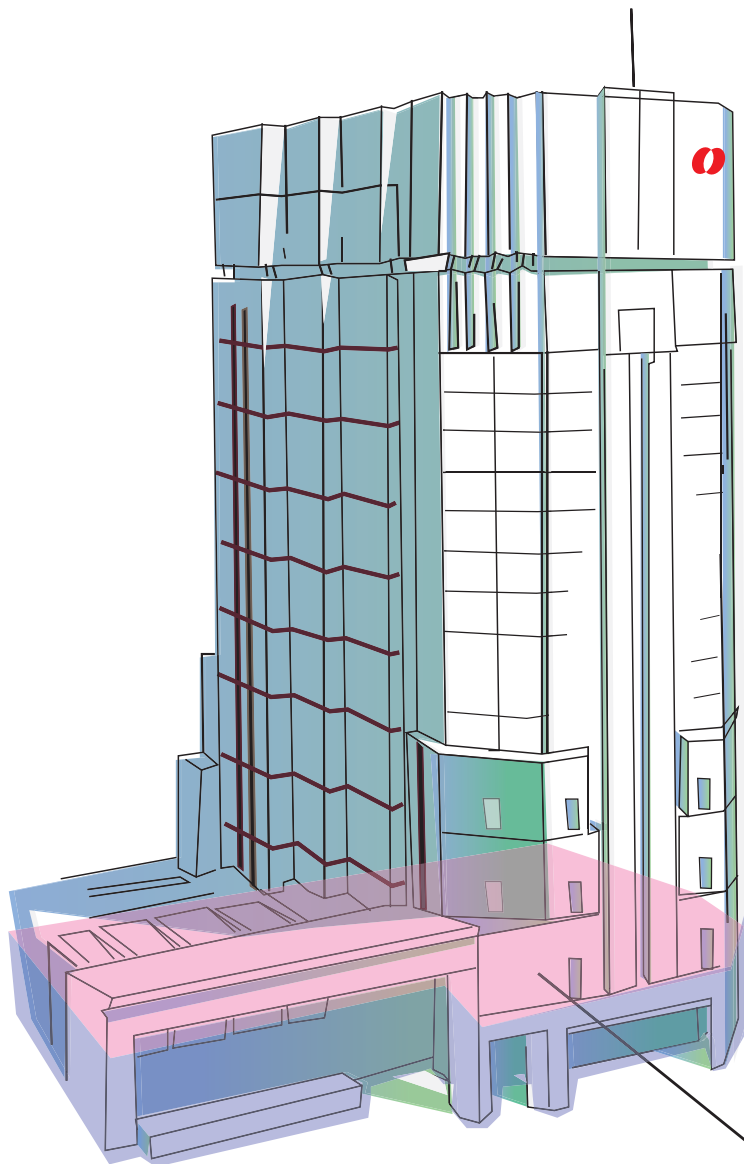
クレームに対する改善・再発防止を関係部署に働きかけ、クレーム発生件数削減を図る



2003年度取組実績
2004年度目的・目標

本社ビル 環境目的・目標

2004年度



1階

受付 商談室

省資源

目的 水使用量の削減

目標 水使用量を2003年度比3%削減する

具体的施策

洗濯による水資源の削減

教育・啓蒙

目的 社員・来訪者の環境意識の啓蒙

目標 環境意識向上に向けての啓蒙活動の実施

具体的施策

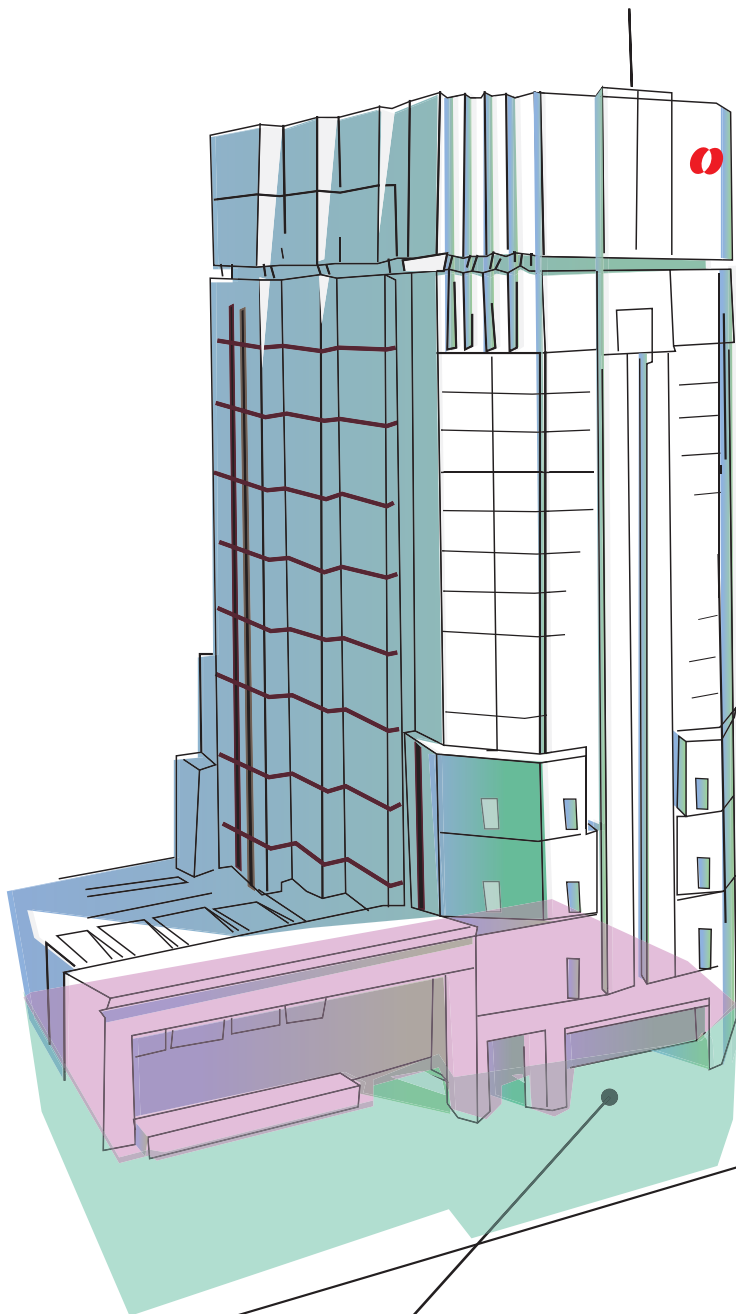
商談室利用者への環境意識の啓蒙



2003年度取組実績
2004年度目的・目標

本社ビル 環境目的・目標

2004年度



地下1階

食堂 談話室

省エネルギー **目的** 電気使用量を削減する

目標 売上あたりの電気使用量を2003年度比1%削減する

具体的施策
昼食後の消灯の徹底

省資源 **目的** 厨芥廃棄量を削減する

目標 厨芥廃棄量を2003年度比1%削減する

目的 食用油の使用量を削減する

目標 廃油廃棄量を2003年度比1%削減する

具体的施策
食べ残しや食用油の使用量を削減するためメニュー改善や現状メニューの調査を行う

大気汚染 **目的** 食堂の防火体制を確立する

目標 2004年10月に行われる本社ビル全体での避難訓練に常駐外部社員も参加させる

具体的施策
火災発生を想定して避難訓練を実施する

教育・啓蒙 **目的** 常駐外部社員（食堂・清掃・売店）及び派遣元企業へ環境意識の啓蒙をする。

目標 常駐外部社員へ環境教育を年2回実施する

具体的施策
常駐外部社員になとりの活動を理解してもらうため、環境側面についての教育を年2回行う

目標 派遣元企業（葉隠勇進株式会社）へなとりの実施している活動への啓蒙を行う

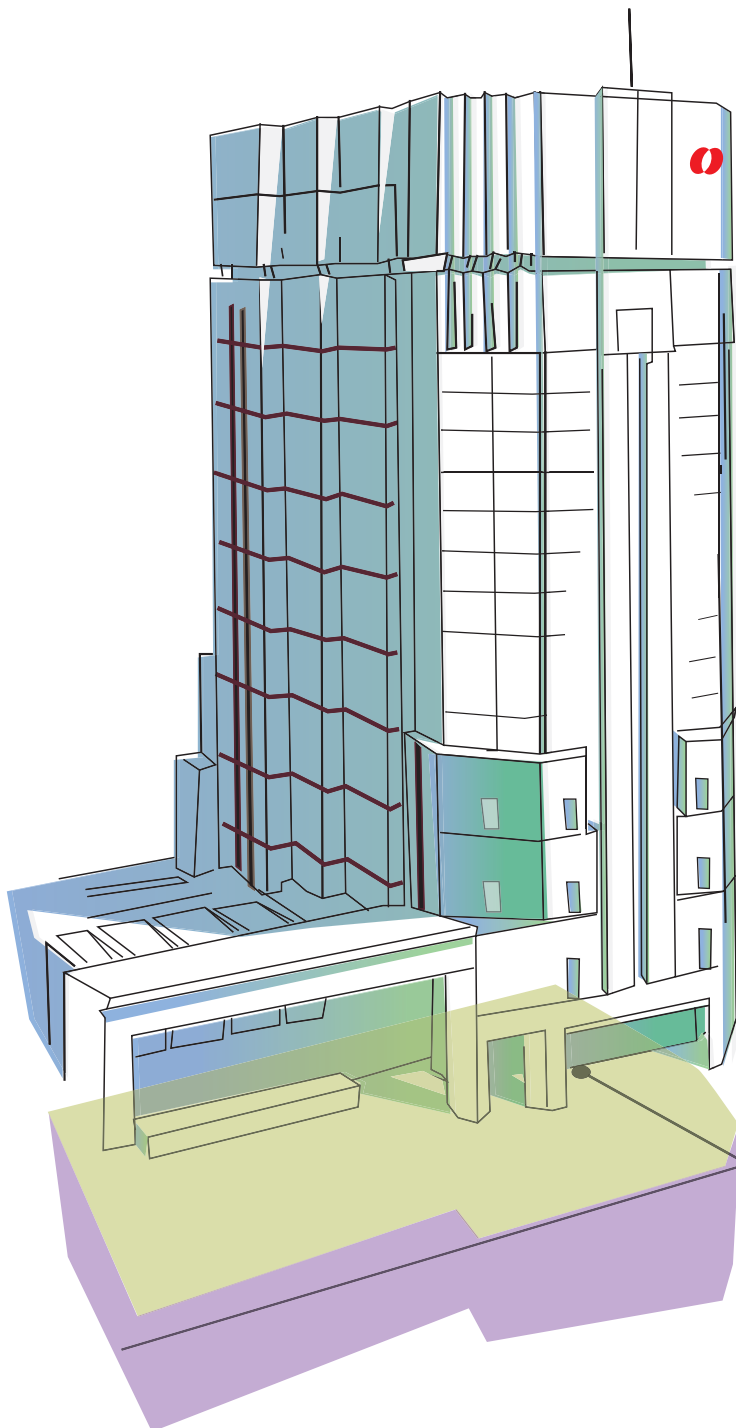
具体的施策
ISO14001の研修会ビデオを葉隠勇進株式会社へ送付し、なとりの環境の取り組みを理解してもらう



2003年度取組実績
2004年度目的・目標

本社ビル 環境目的・目標

2004年度



省エネルギー **目的** 電気使用量を削減する

目標 電力使用量を2003年度比1%削減

具体的施策

照明の部分消灯の見直し実施

大気汚染

目的

当社使用の車両をすべて
8都県市指定低公害車に入れ
替える

目標

2004年度内に地下2階に本拠を持つ
ディーゼル車1台を低公害車に切替える

具体的施策

ディーゼル車から指定低公害車への
切替え

教育・啓蒙

目的

地下駐車場入庫車両、運転者
への環境意識の向上を図る

目標

入庫車両の運転者個々に対する不要な
アイドリング運転停止の周知

具体的施策

入庫車両の運転者へのアイドリング
ストップの周知

地下2階

駐車場



埼玉工場
2004年度
目的・目標



埼玉工場

目的

2005年度までに2002年度を
基準として生産高比で

- ①原料屑1%削減
- ②廃プラ1%削減
- ③コピー用紙10%削減

廃棄物

目標

2002年度を基準として生産高比で

- ①原料屑0.5%削減
- ②廃プラ0.5%削減（リサイクルを含める）
- ③コピー用紙5.0%削減（リユースも含める）

目的

2005年度までに2002年度を
基準として生産高比で

- ①電力使用3%削減
- ②LPガス3%削減
- ③工業用水1%削減
- ④上水1%削減

省エネルギー

目標

2005年度までに2002年度を基準として
生産高比で

- ①電力使用2%削減
- ②LPガス1%削減
- ③工業用水0.5%削減
- ④上水0.5%削減

目的

2005年度までに

- ①全製品に対し、包材を見直し、
環境に負荷のかからない物に
変更する
- ②製造工程を見直し、新規購入
あるいは修理等を行うときは
環境に負荷のかからないよう
検討する

製品

目標

- ①環境に負荷のかかる包材（塩ビを含む物）
を洗い出し50%を見直す
- ②製造機械の購入時あるいは修理する
ときは環境に負荷のかからない物に
変更するというチェック項目を設け
検討する



CSRへの取り組み

CSR(企業の社会的責任) への取り組み

地域社会への貢献

平成15年7月に日本経団連(社団法人日本経済団体連合会)を通じて、日本経団連自然保護基金へ500千円の寄付をさせていただきました。

「第9回ディスクロージャー表彰」受賞

平成16年1月に東京証券取引所から「第9回ディスクロージャー表彰」を受賞いたしました。

「ディスクロージャー表彰」とは、平成7年度に設けられた制度で、上場会社のディスクロージャーの充実を促進する観点から、企業内容等を適時・適切に、投資家に分かりやすい形で開示しているなど、ディスクロージャーに積極的に取り組んでいると認められる上場会社を毎年1回表彰するものです。



コンプライアンス

なとりグループでは企業理念に掲げる、「自由闊達にして公正で節度ある企業活動」を推進するため、2002年に「企業行動規範」・「役員・社員行動規範」を制定し、役員・社員一人一人が、この行動規範に基づき公正な判断のもと、誇りを持って日々の業務に励むことができる「コンプライアンス重視」の体制づくりを進めております。



行動規範遵守推進委員会を設置

コンプライアンス体制の確立のため、行動規範制定と同時に、行動規範遵守推進委員会を設置し、各部署には推進委員(コンプライアンスオフィサー)を任命して、円滑な運営ができるように進めています。

全従業員への「行動規範」冊子の配布

「企業行動規範」・「役員・社員行動規範」・「行動規範の手引き」を冊子にまとめ、全従業員に配布しています。更には、従業員が日々自覚と責任ある行動を促すツールとして行動規範をまとめた「ポケット版行動規範」も配布しています

内部・外部への報告相談窓口を設置

なとりグループの全従業員が、法令・定款・社内規定を遵守する上で、こまったことや問題点を通報する仕組みを確立するため、社内にはEメール・電話・FAX・イントラネット上に「コンプライアンスボード」を設置、社外にも弁護士その他、インテグレックス社に社外通報窓口を設置し、企業の透明性を図るよう進めています。

「第2回 誠実な企業賞 大賞」受賞

内部管理・コンプライアンス・企業倫理等に関して優れた取組みをおこなっている企業に対し贈られる、産経新聞社・KFI株式会社主催の「誠実な企業賞 大賞」を平成16年3月受賞しました。





企業行動規範

この企業行動規範は、なとりグループがその経営理念のもとで事業活動を行うにあたり、会社及び役員・社員が遵守すべき行動の規範を定めるものである。

ここでいうなとりグループとは、株式会社なとり及び株式会社なとりが経営責任を有するすべての関係会社をいい、この範囲に含まれる会社及びその役員・社員は、以下に定める規範の精神を理解しこれを遵守する。

1. 顧客満足

常に、お客様第一の立場に立ち、安全・良質で美味しい製品を提供し、取引先と共に繁栄する企業を目指す。

2. 法令遵守と信頼

法令並びに社会・社内のルールを遵守し、公正な事業活動を行い、社会から信頼される企業を目指す。

3. 株主還元

コーポレートガバナンスを重視し、自由闊達で革新的な事業活動を遂行し、積極的に株主への還元を図る。

4. 社会貢献と環境

「おつまみコンセプト」のもと、食文化の創造と発展を通して、豊かな社会作りと環境に配慮した事業活動を行う。

5. 創造と挑戦

Marketing(変化する時代・世代・嗜好への対応)、Innovation(新製品・新技術の開発)、Investment(新設備の開発・人材育成)を通じて、未知の世界に果敢に挑戦する。

6. 人間尊重と自立

人間尊重の理念のもと、自立・自助努力・自己責任の原則を貫き、社員の社会的経済的地位の向上を図りながら、限りなく成長する企業を目指す。

制 定 2002年 4月 1日